

みんな)

しそんは^{かみ}神につかえ

し^{しかい}かい)

し^{しゅ}主のことをきたるべき^よ代にかたりつたえ

ぜん^{ぜんいん}いん)

なしとげてくださっためぐみのみわざを

たみのすえにつげしらせるでしょう。アーメン

4月5日
さんびか
まねきのことば

*新共同訳聖書・こどもさんびか改定版を使用、〈 〉は旧こどもさんびか
83 いばらのかんむりかぶせられ 〈旧 112〉

せいしよ
おいのり・しゅのいのり

ルカふくいんしよ 23 しょう32~38 せつ

さんびか

34 キリストのへいわ

〈旧 51 わたしは〉

イエスさまの^{じゅうじか}十字架

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ、わが^{かみ}神、わが^{かみ}神、なぜ、わたしをおみすてになったのですか」(マタイ 27:46)。イエスさまはそのようにさげばれて、息^{いき}をひきとられました。イエスさまはねたみ^{じゅうじか}のために十字架^{じゅうじか}にかけられました。ねたみ^{ひと}というのは、人^{ひと}をうらやむ心^{こころ}から、いじわるをしたり、やっつけたり、じぶん^いがえばりんぼう^{こころ}になって、人^{ひと}をみくだす心^{こころ}です。だんだんとエスカレートすると、わるぐちを言^いったり、あいてをたたいたり…。人々は、とうとうイエスさまを^{じゅうじか}十字架^{こころ}にかけて、殺^{ころ}してしまいました。

はじめは心^{こころ}の中^{なか}で「あいつ、いやだな」と、ちょっぴりおもうだけでした。小さなタネでした。でもだんだんと罪^{つみ}がふくらむとやがて死^しをもたらします。イエスさまはその罪^{つみ}を、わたしたちの心^{こころ}の中^{なか}にある罪^{つみ}を、うちほろぼすために十字架^{じゅうじか}にかかって死^しんでくださったのです。それによってわたしたちの心^{こころ}の中に、罪^{つみ}のタネではなくて、みことばのタネがおちて、やどるようになりました。イエスさまのお語^{かた}りになるみことばのタネは愛^{あい}のタネです。愛^{あい}のタネはあいてをうけいれる心^{こころ}をそだてます。愛^{あい}のタネがだんだんとふくらむと、やさしくしたり、しんせつにしたり、ゆるしの心^{こころ}をそだてて、いのちと平和^{へいわ}をもたらします。

イエスさまは「父^{ちち}よ、かれらをおゆるしてください。自分^{じぶん}が何^{なに}をしているのか、しらないのです」と言^いって、自分^{じぶん}のことをきらい、いじわるをする人^{ひと}た

ちのために、「罪^{つみ}がゆるされるように」、「まことのいのちがあたえられるように」といのられました。わたしたちもそのいのりによって、毎日^{まいにち}がゆるされています。イエスさまのみ^な名^なによっていのりましょう。

いの^{いの}祈^{いの}り イエスさまの^{じゅうじか}十字架^{じゅうじか}によって、わたしの^{つみ}罪^{つみ}はゆるされています。

イエスさまの^{あい}愛^{あい}をいつもおぼえて、毎日^{まいにち}をすごすことができますように。アーメン